

BOOK NEWS

第8号 2021/2/10 向陽高校図書館発行



図書館からのお知らせ

★みんながリクエストしてくれた本がこの他にもたくさん入りました！

★図書館の本をスマホやPCから検索できます！

向陽高校 HP 画面の「向陽高校図書館」をクリック！または右のQRコードからどうぞ。とても便利です。



900 小説（文学）



リクエスト！



「魔女の旅々1～14」

白石定規著 SBクリエイティブ刊
魔女イレイナが綴る、不思議で少しビター、そして可笑しい旅の物語。

「Cocoon1～4」

夏原エトジ著 講談社刊

誰もが振り返る美貌の花魁、瑠璃。だがその裏の顔は江戸に現れる鬼を退治する組織の頭領だった。

リクエスト！

100 哲学・心理学



「自分のこころとうまく付き合う方法」

アリス・ジェームズ著 東京書籍刊
グッバイキミの生きづらさ。友だち、恋、性、学校やSNSでの人間関係、体の変化、性とジェンダーへのもやもや。こころの仕組みを知るともっとラクになる。10代のメンタルを救う“世界標準”のバイブル。

200 歴史



「アウシュヴィッツ潜入記」

ヴィトルト・ピレツキ著 みすず書房刊
第二次大戦中の1940年、後に「死の収容所」と呼ばれるアウシュヴィッツ収容所に自ら潜入し、収容所の実態を上官あてに詳細に綴ったポーランドの将校の記録。2012年にはじめて出版されるまで、日の目を見ることがなかった貴重な歴史の真実。

「移民の世界史」

ロビン・コーエン著 東京書籍刊
巡礼者、労働者、難民、亡命者、留学生…。先史時代から現代まで、人類はどのように移動したか。「移民」の歴史とこれからの迫る。

300 社会科学



「少年と罪」中日新聞社会部編 ヘウレーカ刊
少年事件の加害少年たちが漏らす衝撃的な言葉。子どもたちの心に何が起きているのか。社会は本気で子どもたちに向き合ってきたのか。重大少年事件を丹念に取材し、加害少年の内面、被害者家族の悲嘆と苦悩、加害者家族の過酷な現実を描く渾身のルポ。



「お探し物は図書室まで」

青山美智子著 ポプラ社刊
お探し物は本ですか？仕事ですか？人生ですか？人生に悩む人々が、ふとしたきっかけで訪れた町の図書室。無愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で後押しします。ハートウォーミングな物語。

「犬がいた季節」

伊吹有喜著 双葉社刊
1988年夏、高校に迷い込んだ一匹の白い子犬。「コーシロー」と名付けられた犬は、以後生徒と共に学校生活を送っていく。昭和から平成、そして令和へと続く時代を背景に、コーシローが見つめ続けた18歳の逡巡や決意をみずみずしく描く、青春小説の傑作。



「フラック・ショーマンと名もなき町の殺人」

東野圭吾著 光文社刊
ほとんどの人が訪れたことのない平凡で小さな町。ようやく射した希望の光をコロナが奪い、さらに殺人事件が…。

500 技術



「化粧劇場」イガリシノブ×劇団雌猫監修
女子が圧倒的に共感できる規格外のメイク本！
「コンプレックスとの向き合い方」、「自尊心の育成」といったテーマを踏まえつつ、劇団雌猫と大人気ヘアメイクアップアーティスト・イガリシノブがリアルな悩みと欲望にとことん応えます。

700 絵本・漫画（芸術）



「あつかったらめげばいい」

ヨシタケシンスケ著 白泉社刊
一せかいがかわってしまったら、じぶんもかわってしまえばいいーヨシタケ式心を緩める絵本。



「鬼滅の刃 23」

吾峠呼世晴著 集英社刊

「呪術廻戦 1～14」

芥見下々著 集英社刊

「進撃の巨人 33」

諫山著 講談社刊

「ここは今から倫理です。1～5」

雨瀬シオリ著 集英社刊

お待たせしました！